



発行
一般社団法人 双成会
責任者 向井 清陽

目次

校長あいさつ	1
お祝いのことば	2
クラブ活動・中学校写真	3
クラブ成績 中学の部・高校の部	4
文化祭・体育祭・球技大会写真	5
	6
	7
	8



卒業生に贈る言葉

和歌山県立日高高等学校・附属中学校校長 山本 直樹

日高高等学校、附属中学校卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんの今日のまでの真摯な努力に心から敬意を表します。

ご家族の皆様におかれましては、お子様がこの晴れの日を迎えられたことに、心よりお祝いを申し上げます。ご協力に教職員一同、厚く御礼を申し上げます。

皆さんが、本日、めでたく卒業の日を迎えることができたのは、一人ひとりが最後まで全力で頑張りとおした結果であることは言うまでもありません。しかし、皆さんのことを絶えず気遣いながら、支えてくださったご家族や周囲の方々のお陰であることを決して忘れないでください。

この「卒業」は、日高高等学校、日高高等学校附属中学校という学び舎で、皆さんが何を学び、どのような人格に成長していったのかを、今後の人生において示していくことを意味します。また、日高高等学校・附属中学校にとっては、その教育を通して、いかなる人材を育成し輩出したのかという責任を、社会から問われることでもあります。是非、これからも堅実に成長していただきたいと思います。

さて、皆さんは「中学時代」「高校時代」というステージから、それぞれ次のステージへと歩みを進めて行きます。中学を卒業し新たな気持ちで高校生活をスタートする人、高校を卒業し、大学や専門学校へ進学し、より専門的な勉強をする人、就職して社会人となり経済的にも精神的にも自立する人、その道は様々ですが、未知の世界に対する期待と不安、そして緊張感でいっぱいになっていることと思います。

新たなステージに向かう皆さんに、次の言葉を贈ります。

「志を立てて、以て万事の源となし、交りを拵びて、以て仁義の行を輔け、書を読み、以て聖賢の訓を稽ふ。」

松下村塾で高杉晋作や伊藤博文など多くの弟子を育てた吉田松陰の「三端」という教えで、立派な人間になるためには3つのことが重要だと説いています。まず、すべての実践は志をたてることから始まる。そして、友を選ぶこと、読書することと続きますが、それは「現在の人」と「過去の人」との

双方から学ぶということの意味について、こうすることで、有為な人材になれると教えています。

この三年間、皆さんは本校で夢を育み、その実現に向けて取り組んできました。目標とする大学に合格することや、部活動で活躍すること、国際交流にチャレンジすること、あるいは生徒会活動に尽力することなど、それぞれの志を胸に、まさにこの「三端」の教えを実践してこられたわけです。

松下村塾の塾生も皆、初めから夢や志があったわけではありません。様々な角度から物事を学び、自ら考えることで夢が生まれ、志となっていくのです。夢は、学びや経験を積み重ねるうちに進化するということです。

詩人の大岡信さんは「言葉の力」という随筆の中で、人間国宝に認定された染織家の志村ふくみさんから、黒っぽいゴツゴツした桜の樹皮から、淡いようである、しかも燃えるような強さを内に秘め、華やかでしかも深く落ち着いた美しいピンクの色が煮出せるのは、桜の咲く直前だけであるという話を聞き、その時期には、花びらだけでなく、桜が木全体で懸命になって最上のピンクの色になるうとしていること、その活動の精髓が桜の花びらという一つの現象になるに過ぎないということに思いが至ったと書いています。

私は、夢の実現もまた、この桜の木と同じように、いろいろな学びや経験で、より魅力的な自分の色を蓄えてこそ現れる結果だと思います。そこには、表に見えない努力があり、そこに至るまでの準備に価値があるのだと思います。表に現れた、見える現象だけに目と心を奪われるのではなく、その現象を成就させる本質について考えられる人、夢を現実の物とするために何が必要かを見極めることができる人、そのために努力を惜しまず、学び続ける、チャレンジし続ける、そんな魅力溢れる人になっほしいと思います。

これからさらに新たな夢に向かって進んでいく皆さんに申したいことは「学びの本番はこれからだ」ということです。生涯、夢を進化させ続けることを期待します。

最後に、もう一つ吉田松陰の言葉を紹介します。

夢なき者に理想なし
理想なき者に計画なし
計画なき者に実行なし
実行なき者に成功なし

ゆえに、夢なき者に成功なし
卒業生の皆さんの前途に幸多からんことをお祈りいたします。

卒業生に贈るご言葉

双成会会長

向井 清陽

日高等学校、附属中学校卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

保護者の皆さま、お子様のご卒業おめでとうございます。立派に成長されたお子様の成長に感慨深いものがあるのではないかと存じます。

双成会を代表いたしました。一言お祝いの言葉を申し上げます。卒業生の皆さん、学校生活を振り返ってどうでしょうか。学校生活

中学校

3年A組担任 東 千代

日高等学校附属中学校十四期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

三年前、皆さんと同じ年にこの学校に赴任したことをついこの間のよう

に思い出します。自分の体よりも大きな制服に身を包み、入学式を緊張した面持ちで待っている皆さんの顔を見て微笑ましく思ったのを覚えています。優しく、人のために行動できる子達だと感じました。そんな皆さんが卒業すると思うととても感慨深く思います。

3年A組 児島 舞

思い出せば、あつという間の3年間だったと感じます。中学校生活を振り返ってみると、数え切れないくらい

のたくさん思い出、一つ一つが昨日のこのように思い出されます。一年生、真新しい制服を着て少し大人

を通して人として成長することができましたか。先生方からは新鮮な考え方を提供してもらい、仲間からは良い刺激をもらい、家族からは厳しく、優しく、いつも支えてもらい、責任感を持ち、感謝する機会が増えることで、人に対する感謝の大切さを学んだのではないのでしょうか。これからそれぞれ新たな道へ進んでいきますが、常に感謝の気持ちを忘れず、自分を信じて、自分がしたいことにチャレンジしていきましょう。

最後になりましたが、卒業まで温かく、また厳しくご指導いただきました先生方に、保護者を代表いたしまして、お礼を申し上げます。ありがとうございます。

とができ、友達ができました。また、時間を守る大切さを教わりました。何もかもが初めてだった一年生の私たちを引っ張っていったくれた先輩方。思い返せばとても大きな存在でした。

一年生のとき、先輩が「先輩」と呼ばれるようになり、初めの頃は違和感を覚えたが、自覚を持ち初めたのは科学オリンピックでした。三年生が、二年生の私たちがまとめ役となり、様々な問題を解きました。協力して解けたときは、うれしさや達成感が溢れたように思います。また、話し合いを通して後輩と仲良くなることもできました。総合学習では、未来の仕事について考え、文化祭で発表をしました。また、貴志川のよってってで野菜の対面販売した際には、働くことの大変さを感じつつ、お客さんとのコミュニケーションの取り方を学ぶことができました。実験科学で行った、エッグドロップでは試行錯誤し、練習を重ねました。成功したときは班の子達と喜びを分かち合い、失敗したときはどこがダメだったのか考え、悔しさを分かち合いました。

三年生、劇団四季で見たライオンキングやディズニーランド、国会議事堂などに行つた二泊三日の修学旅行。クラスみんなで協力しあい、一丸となって競い合った体育祭。修学旅行で経験したことをもとに旅行プランを発表した文化祭。日高地方小中学校音楽演奏大会では、みんなを心一つにして歌い、練習の成果を出すことができました。

3年B組担任 弓倉 香苗

14期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

全員が無事に今日の日を迎えることができたことを、大変嬉しく思っています。

皆さんと学年の担当として関わることができたのは一年間だけでしたが、私にとってこの一年間はとても充実した日々でした。皆さんの人を思いやる優しさや素直さ、そして教室にあふれる笑顔など、思い返せばとてもあたたかく、満たされた気持ちになります。

四月から始まる高校生活では、新しい経験ができるチャンスがたくさん訪れます。楽しいことだけでなく、辛いことや苦しいと感じることもあるかと思いますが、失敗してもかまいません。先生を含め、ここにいる仲間たちが、きっとあなたの支えとなつてくれるでしょう。恐れず、たくさんのことに挑戦してください。

3年B組 野口 侑愛

コロナ禍真っ只中の四月、私たち14期生は入学式を迎えました。それから三年間、長いようで短い中学校生活を無事終えることができました。

「KUD」コロナの中、先生方は私たちに貴重な経験ができる機会を沢山設けてくださいました。一年生では、初めての宿泊研修で紀南地方にいったナビゲイト日高。二年生では、緊張しながら未来の仕事についての個人発表をした文化祭。地域の生産者さんを訪問し、商品を梱包して販売した対面販売。そして、三年生になり、新型コロナウイルス感染症が5類へと移行し、規制が緩和されました。

四年ぶりに東京方面への修学旅行へ行くことができた、グループで修学旅行のプランを立てました。交通手段やお店を事前に調べ実行できる不安でしたが、無事プラン通りにいくことができた、またその内容を文化祭で発表することもできました。

私が中学校生活の中でいちばん印象に残っていることは、台湾、西安の海外の人たちと対面するのは初めてで、とても新鮮な体験でした。日本の文化を伝えるためにスライドを活用しながら英語で説明し、伝わりにくいつつも一生懸命伝えることが大事だと学びました。

高校

3年1組担任 石本 千夏

ご卒業おめでとうございます。日本では古来より、特別な日を「ハレ」の日、日常を「ケ」の日と呼んで使い分けてきました。「ハレ」の語源は「晴れ」。長雨が続いたあとでお天気が回復し晴れ間がさした日のことを言うそうです。つまり「ハレ」は「区切り」です。

卒業式は、人生における「ハレの日」で、大きな節目の一つです。この節目に際し、私なりに、3年1組での1年間の日々を思い返してみたい。しんどいことも笑って吹き飛ばしてしまいうようなからつと明るい勢いと、繊細な心遣いにあふれ、皆さんに救われることもたくさんありました。皆さんが、今日を区切りにさらにパワーアップして、それぞれの道で活躍することを想像し、とてもわくわくしています。どうぞこれからがんばってください！

3年1組 森 心羽姫

新しい生活に期待を抱きながら入学したことが、ついこの間のように感じられます。コロナ禍から始まった私の高校生活も、無事終わりの日を迎えられたことに喜びを感じています。

私はバスケットボール部に所属していました。同級生にはいろいろ迷惑をかけたが、今となっては本音で話せる一番の仲間です。思うようにいかないと支えてくれる仲間や先生のおかげで、最後まで頼れない私でしたが、副キャプテンを務めることができた。高校から始めた初心者5人だったけど、総体では全員で試合に出ることもできました。先生、大変なことが多かった学年だと思いますが、最後まで私たちのことを指導くださり、ありがとうございます。バスケット部に入って良かったです。私はバスケット部が好きです。

大イベントの修学旅行が延期になり、行き先が近畿地方に変更されたときは、正直気分が乗りませんでしたが、しかし、バスの中でWBCの優勝の瞬間を見たり、大好きな人たちとユニバに行けたり、最終日だけ集合時間に間に合って喜んだり、ホテルの中で焼きそばを食べたりしたら臭いって言われお風呂で食べたり、歴史の瞬間も、些細な出来事も、皆と一緒に体験でき、友情が深まりました。

高校生活の中で、生徒会や体育祭実行委員、クラス委員など、たくさんの役に就いてきましたが、その中で最も大変だったのが生徒会です。皆と放課後集まって遅くまで話し合

をしたら日もありましたが、今改めて思うと、たくさんの方を経験できました。生徒会、入って良かったと思っています。

3年になり、進路実現に向けて先生と相談する日が増え、正直逃げ出したかったときもありました。その際、いろんな人が自分のことのように考えてくれたおかげで、今、自分が選んだ道は間違っていないと思っています。「森ならいける」と応援してくれた友達、どんなときでも温かく指導をしてくださった先生方のおかげで、最後までやり遂げることができ、私は新しい道に進もうとしています。大人になつたら、また皆で集まりましょう。最後に18年間1番そばで見守ってくれた親に感謝します。

3年2組担任 野村 千佳

現代社会で生きていくことは、日々多くの情報にさらされ、さまざまなことについて判断し、選択することの連続です。ときには疲れ果て、自分を見失いそうになるかもしれませんが、何が一番大切なことを念頭に置くために、クラスではスローガンを大事にしました。共有できる目標を書くことで視覚化し、折に触れて声に出すことで再確認できます。スローガンは本質を見失いそうになるときに、本来進むべき道に立ち返る力になります。

卒業していくみなさん、自分がすべきことやしたいことは何なのか、今の自分にとっての目標をシンプルに言葉で手帳の片隅に書き留めてみて下さい。20年、30年後には自分の軸を持った大人になれるよう、試行錯誤を重ねて日々自分自身を新しくする旅に出ましょう。可能性豊かなみなさんの個々の挑戦が社会の発展につながると信じています。卒業生の今後の活躍こそが私の教員としてのやりがいです。

3年2組 御前 星真

長いようで短かった高校3年間は終わろうとしています。知り合いが一人しかいない不安と新しい生活に期待を抱きながら入学したことが、ついこの前のこのように感じます。コロナ禍で始まった高校生活でし

た。様々な行動制限がある中で上手くコミュニケーションが取れず友達作りに苦戦しました。その状況の中でも様々な工夫を施して開催された球技大会や体育祭などの行事を通してたくさんの人と仲良くなることができました。修学旅行は前日に延期になりましたが、長崎から近畿圏内に変更されましたが、活動のほとんどが自由行動でした。僕たちはノープランで街を探索し、現地でするもの、食べるもの、見るものを決め行動しました。その結果、変更を繰り返した修学旅行も最終的には最高の思い出になりました。

部活動ではサッカー部に所属していました。僕が最初に経験したのは挫折でした。入学当初から怪我を繰り返しました。試合にも出られず悔しい思いをしました。また、辛くしんどい練習を何度も投げ出したくなることもありました。そんな中、3年間続け、成長することができたのは共に笑い、助け合い、辛い事も一緒に乗り越えてくれた12人の同い年のチームメイトのおかげです。本当に感謝してもしきれません。

3年間の学校生活で辛くしんどい時期もありましたが、周りの環境に恵まれ、今では何気ない1日1日が僕にとって最高の財産だったと心から感じます。このような日々を送れたのは先生方、家族、友達の支えのおかげだと思っています。本当にありがとうございます。

最後に、僕の好きな言葉は「好きなことで生きていく」です。このように生きていくのは簡単ではないと思います。しかし、高校生活で多くの経験し、多くを身に付けたからこそ、自分の可能性を信じ「好きなことで生きていく」ようになるまで挑戦し続けたいです。三年生のみなさん、また1段階、2段階と成長して会いましょう！

3年3組担任 中野 貴文

朝、HR教室に行く。わいわいしている日もあれば、静まり返っている日もある。気分がいいのか、悪いのか。挨拶をして出席をとる。今日はみんないるかな、休んでいる人はいないかな。連絡が入っているか確認する。毎朝、みんなのことが気になった。何気ない「日常」が得意でない人もいたけど、息を切らしながらクラスのために走る姿があった。文化祭、食品バザーに挑戦した。みんな手探りだったけど、朝早くから生地をこねる人、大きな声で売る人、最後まで丁寧に片付けをする人の姿があった。行事は「日常」を彩ってくれた。秋、受験のため志望理由書を持つてくる人、面接練習をする人、不安な気持ちを打ち明けてくれる人、大変だったけど「日常」

が充実した。これからまた新しい「日常」が始まる。それぞれの「日常」を大切に。みんな卒業おめでとう。

3年3組 日下 凌

長いようで短かった3年間の高校生活を振り返ってみました。学校行事や部活動など楽しいことがたくさんあり、18年間生きてきた中で最も青春したと感じる3年間を過ごしました。

学校行事では、クラスメイトと協力して取り組んでいくうちにクラスの仲を深めていきました。1年生の時の球技大会では、まだ話したことのない人もたくさんいて皆で協力しあえるのが最初は不安でいっぱいでした。しかし、皆が優勝に向けて頑張っていくうちにだんだんとクラスの仲も深まっていきました。皆で協力してサッカーで優勝できた時の喜び合った時間は今でも鮮明に覚えています。部活動では、バレーボール部に入学しました。そこで、私は礼儀や何事にも最初から全力で取り組むことの大切さを学ぶことが出来ました。私は2年生の時よりベロベロとして試合に出させていたでいていました。先輩2人と私の3人でよく愚言者3人と言われていました。そのため、先輩の近畿大会がかかった試合で私はなかなか上手なパスをセッターに返すことができませんでした。チームはあと1勝で近畿大会というところで負けてしまい、申し訳ない気持ちでいっぱいでした。悔しかったので、その負けました日からは、私は何事にも最初から全力で取り組むことを決心し、先輩たちの強い気持ちを持ちました。私たちの学年は全員高校からバレーを始めた人たちなので、他の高校よりも練習をたくさんしてきました。私たちはその練習の成果を試合で出せることができ、目標としていた近畿大会に出場することができ嬉しかったです。更に、近畿大会に出場できることを先輩たちに伝えるとき私たちが以上に喜んでもらえてとても嬉しかったです。最後に私が最も青春したと感じる3年間を過ごせたのは最高の友達、クラスメイト、チームメイト、先生がいてくれたおかげです。本当にありがとうございます。

3年4組担任 中本 万智子

この3年間、皆さんと多くの思い出ができました。明日からはもう会えないと思うと少し寂しい気持ちもありますが、皆さんの新しいスタートを、心から応援したいと思っています。「人柄の良さは人生の宝なり。それは誠実な心より育つ」これは、私が恩師にもらった言葉です。社会に出て、何かを成し遂げるためには多くの人の協力が必要ですが、助けてもらうためには、その人の人徳が問われます。だから、常日頃から誠実に生きるということは本当に大切だと思ふのです。

もう一つ、幸せに生きていくために必要なことは、様々な人と繋がることだと思ふます。人はそれぞれ得意なこと、不得意なことが違います。しかし自分が苦手なことでもそれが得意な人と繋がれば、自分の力にすることが出来ます。自分と違う価値観を排除するのではなく、違うからこそ学ぶことがあるという視点が大事です。皆さんが多くの善き人に出会えますように。全員の幸せを願っています。

3年4組 西 来夢

私の高校生活はコロナ禍でのスタートでした。一年時は行事ごと制限があったり、私自身が人見知りであったりしたので、上手く友達を作ることができませんでした。一つ学年が上がって二年生となり、希望する進路の関係から、私は理系クラスを選択しました。個性の強い友達が多く刺激的な毎日、時にはたまごっちをしたり、放課後みんなで大富豪やワードウルフをしたり、楽しい思い出をたくさん作ることができました。三年生となり、部活動最後の夏、ソフトテニス部に所属していた私は、惜しくも二年連続でインターハイを逃してしまいました。悔しい思いをしました。近畿大会に出場し、最後はみんなが笑って終わることができました。部活動を引退した後は、生徒会副会長を務め、主に文化祭と体育祭の運営に携わりました。受験勉強の時間を削って放課後に残り、行事ごとの方向性を決めたり作成をしたり。何よりも受験勉強との両立は大変でしたが、今まで知らなかった裏方の仕事の大変さや、みんな一つ一つの事に向かって取り組み、成功した時の達成感など、部活動とは違う苦労と経験を知ることができ、入って良かったと改めて思っています。

生徒会活動も終わり、受験勉強に追われる日々が始まり、特に苦手意識のあった数学には苦労しました。基礎もなっていない私に分かるまで教えてくださった先生方や、自分の勉強があるにも関わらず、嫌な顔一つせず教えてくれた友達には感謝しかありません。辛い事もありましたが、周りの支えもあり無事合格することができました。三年間の高校生活、いろんな事がありました。他愛もない事で笑い合えた日々が私にとってかけがえのない宝物です。最後にお母さん、たくさん迷惑かけたけど、ここまで大事に育ててくれてありがとう。夢を叶えて恩返しするの

で、これからも見守っていてください。

3年5組担任 宮崎 真衣

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんが日高高校で学び、悩み、成長し、それぞれが決意した道に進んでいくことを大変嬉しく思います。この3年間は自宅待機や分散登校など通常の学校生活が送れなかったこともあり、いわゆる「普通の日」がどれだけあったかが身にしみた時間でもありました。これから様々な経験を重ねていく中でも、日々の「当たり前」をどうか大切にしてください。

3年5組 西崎 心彩

入学当初、クラスが複数あることに違和感があり、人の多くなった環境に慣れることができなかった。しかし不安な感情だけではなく、人数が多い分いろんな個性を持った人達がいって、ものすごくワクワクしていました。勇気を出して話しかけた子と仲良くなれたり、初めて中庭でお弁当を食べたり、クラスでTシャツを揃えたり、そういう高校生活らしい新しい経験をたくさんできたことが、私にとって一番嬉しい思い出です。

私が高校生活で一番変化したところは、国語が好きになったことです。中学生の頃までは、国語に全く興味がなくて教科書のお話も面白くないことが多かったけれど、高校生活になって、得意にはなれなかったけれど、国語の授業がものすごく楽しいと感じるようになりました。特に羅生門と伊勢物語が印象に残っています。評論を読むことが好きになったことが私の成長です。

高校で行ったイベントはどれも盛大で全て心に焼きつきました。でも、やはり3年生でやっと開催することができた文化祭は、思っていた以上に大変だったけれど、それ以上に楽しくて本当にいい経験ができたなと思います。また、材料や値段を考えたりの提供まで、こんなに苦労があるんだなと経営をしている方々への感謝と尊敬の念も増えました。高校では、教科の数も増えてテストも大変だったけれど、新しい友達

とたくさんの思い出ができたし、思えばこの3年間は本当にあったという間違ったなと思います。あんなことも経験しておけばよかったなという少しばかりの後悔もありますが、小さい頃に思い描いていた以上の高校生活が満喫出来て良かったです。お世話になった先生の方々、友達みんな、そして家族のみんなに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

3年6組担任 丸山 耕志

卒業おめでとうございます。日高高校での3年間はこうでしたか？

さあ、4月からは、新しいステージの始まりです。

いっぱい挑戦して、いっぱい感動して、いっぱい頑張つて、いっぱい悩んで、いっぱい喜んで、いっぱいどきどきして、

贈ることば

附属中在校生代表

2年A組 丸山 晴也

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。コロナ禍での規制が緩和されたこともあり、昨年の機会が増えました。最も身近な場面は、普段の学校生活です。先輩方から私たち後輩に気軽に話しかけてくれたことが本当に嬉しかったです。新入生歓迎会では、グループの中で司会をしてくださったたり、新入生にたくさん話しかけ、分りやすく説明してくださったり、周りをよく見て声をかける姿を見習いたいと思いました。委員会活動でも、先輩方は率先して司会を務め、私たちの意見を取りまとめ、円滑に話し合いを進めてくださいました。次は私たちが先輩方のような進行ができるよう気を引き締めたいと思います。

日高高校生徒会 会長

2年6組 北出 敦寛

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

一緒に過ごした2年間、先輩方と関わってきた日々はとても楽しい思い出ばかりです。今年度は受験生ということもあり、1年経つのがとても早く、忙しいものだったと思います。そんな中でも、廊下ですれ違ったときや、部活中でも、明るい笑顔で元気づけられました。

いっばい楽しんで、素敵な人生にしてくださいね。お元気で。

3年6組 小林 千華

今、高校生活を振り返ってみると、長い長いと感じていた日々がとても短いものであったように思います。一日、一日を大切に過ごしたいなと考えるが、毎日、あまり代わり映えの無い日常を、今日が早く終わらないだろうかと考えながら過ごしていたような気がします。

私たちの高校生活は、コロナ禍、二年目が始まりました。様々な対応が取られ、行事やクラブ活動には多くの制限がかかっていた。私は、先輩方の姿を見て憧れていた。私が先輩方、「来年はやりたい！」と意気込んでいた。コロナが収束したのが三年生の春で、結局、行うことが叶わなかったものもあります。しかし、そんな生活が憧れを追い続けるだけでなく、できることを精一杯行つて、学びを見つめる良い機会になりました。

に先輩方に応援していただき、力になりました。

さらに、私たちは先輩方の発表を見て学ぶ機会もありました。文化祭の「修学旅行のプラン」の発表では、プランが細かく決められていて、私たちも行つてみたいと思う発表でした。中には、英語でスピーチしているグループもあり、あんなにたくさんの英語は、覚えられないのも考えるのも大変なのに、スラスラと話している、本当に憧れました。

先輩方には、教えていただいたこととはもちろん、尊敬していることがたくさんあります。私たちはそれらを見習い、新三年生として活躍できるように頑張っていきます。そして卒業される皆さんが、充実した高校生活を送れることを心から願っています。今まで私たち後輩をたくさん助けてくださった、本当にありがとうございました。

となりました。少し変わった日々だからこそ、今までの何気ない生活の中からは気付くことができなかったことを見つめることができたのではないかと思っています。

私はこの高校生活3年間で先輩方や友人、後輩とともに楽しく生活することができたと感じています。クラブ活動で新たな趣味を見つけて、創作活動にはまったり、今まで続けてきたことについてより深く考えたり、これからのことを迷ったり、一喜一憂し、少しずつ自分のやりたいことを模索しながら三年間があつたという間に過ぎました。私がやりたい事、目一杯にさせてください。一緒に将来のことを考えてくださる先輩や先生方、本当にありがとうございます。

ここから先、お世話になる方もいるかもしれませんが、私は、両親に、まだまだ迷惑をお掛けするでしょう。それでも、これから先の未来は、自分で切り拓いて、掴み取って、目指すものを見つけて生きて行きたいです。

楽しい先輩方と一緒に活動できた日々を幸せに思います。先輩方がいない学校生活を思うと寂しいです。「もっと時間を共にしたかった」今思うのはこればかりです。私は、優しい先輩方に恵まれたなと今になって実感しています。一年生の頃から入っている生徒会部活、関わってきた先輩方は全員優しく接してくれた事を思い出します。分らないことがあれば、いつでも丁寧に教えてくださる先輩方の温かい優しさをいつまでも忘れません。

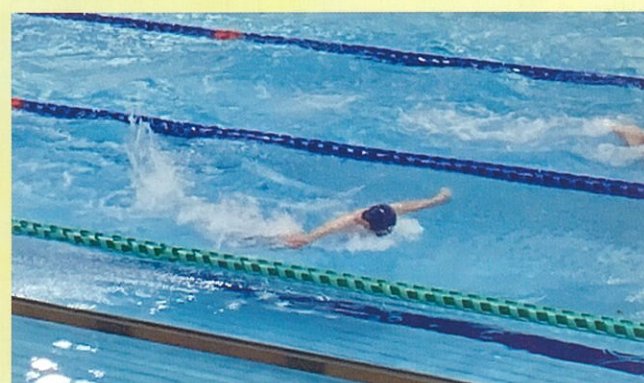
先輩方への第一印象は「仲が良い」ということで、いつ見ても楽しそうに笑いあっている、同じ空間にただで楽しい雰囲気になりました。また相談に乗ってくれた事も多くあり、その度に的確なアドバイスをいただいた。何度か助けてもらいました。なにより一緒に話せるということが嬉しかったです。

私から見た先輩方はいつも格好良く、憧れの存在であり、目標とする人達でもありました。

優しく、周りから信頼されて、頼りがいのある最高の先輩、私達が先輩のようになれるかとても心配です。しかし先輩方が安心して日高高校という学び舎から羽ばたいていけるよう、しっかりと後を継いでくださいます。安心して卒業して下さいます。また会える事を楽しみにしています。

附属中学校





クラブ成績

高校の部

体育部

剣道部

令和5年度和歌山県高等学校総合
体育大会 剣道競技の部（和歌山
市）

男子団体 第3位

假家 平・中村 純真
山崎 隆誠・近藤 幹太
中嶋 孔明・中山 颯
荒堀 颯

硬式テニス部

令和5年度和歌山県高等学校新人
テニス大会（白浜町）

女子ダブルス 第3位

三岩 加奈・法女木 凛

第12回和歌山県公立高等学校テニ
ス大会（和歌山市）

女子団体 第3位

三岩 加奈・小川 華
下村 はる・法女木 凛

女子シングルス 第5位

三岩 加奈
第6位 小川 華

令和5年度和歌山県高等学校テニ
ス選手権大会（和歌山市）

女子ダブルス ベスト8

三岩 加奈・法女木 凛

和歌山ジュニアチャンピオンシッ
プ2023オータムステージ（和
歌山市）

女子ダブルス ベスト8

下村 はる・小川 華

ベスト8

法女木 凛・三岩 加奈

◆バレーボール部

令和5年度和歌山県高等学校総合
体育大会 バレーボール競技の部
（田辺市）

男子 ベスト8

富田 昇吾・池田 晴哉
日下 凌・中井 匠
北裏 智仁・北山 晴仁
夏見 拓歩・花谷 昂祐
高松 正義・山本 伊織
玄素 拓磨・木村 政公
大西 優樹・山田 佑星
杉本 幹太・井谷 健
川上 遼流・井上 敦貴
平井 雄琉・安山 仁
西崎 耀

女子 第3位

澤田 奈歩・東 純葉
山内 麻葵・宮井 花穂
山本 葉月・宇和 七音
小林 愛弥・岡山 梨乃
清水 麻衣・上野 美結
水野 和代・土屋 舞歩
河原崎あい・羽山 里空
前田 百愛・長瀬 日鞠
中畑 葵琳

◆陸上競技部

和歌山県春季陸上競技選手権大会
（和歌山市）

男子三段跳 2位

井田 大貴

男子やり投 3位

野田 唯斗

男子5000m 2位

北裏 武志

女子やり投 3位

道 尚治

女子砲丸投 3位

小川 千晴

女子三段跳 3位

八田 怜奈
花光 凛

女子400m 2位

玉置 愛梨

女子3000m 2位

松本 舞

女子4×100mリレー 3位

中西 晶萌・玉置 愛梨

花光 凛・深尾 玲湮

令和5年度和歌山県高等学校総合体
育大会 陸上競技の部（和歌山市）

男子三段跳 4位

井田 大貴

男子やり投 2位

野田 唯斗

女子200m 4位

玉置 愛梨

女子400m 2位

玉置 愛梨

女子走幅跳 4位

花光 凛

女子三段跳 2位

花光 凛

女子砲丸投 5位

八田 怜奈

女子ハンマー投 6位

八田 怜奈

女子やり投 3位

小川 千晴

女子4×100mリレー 3位

中西 晶萌・玉置 愛梨

花光 凛・深尾 玲湮

女子4×400mリレー 3位

深尾 玲湮・花光 凛

森本 真凛・玉置 愛梨

第56回和歌山県高等学校ユース陸
上競技対校選手権大会（和歌山市）

男子総合 3位

井田 大貴

女子総合 2位

岡崎 仁己

第74回男子・第39回女子和歌山県
高等学校駅伝競走大会

男子 3位

道 尚治・白井 誉

北裏 武志・夏目 尚明

小竹 誉人・上山 透和

出口 雄統

女子 3位

阪本 美沙・西山 友梨

中西 晶萌・西本 もも

石橋 京華

◆ソフトテニス部

令和5年度和歌山県高等学校総合
体育大会（兼）県高校選手権大会
（和歌山市）

女子団体 ベスト8

榎尾咲依里・西 来夢

畑崎 沙月・川村 真菜

辻本 絢音・森 桜子

内芝香奈美・濱本 琴心

女子個人 ベスト16

西 来夢・畑崎 沙月

◆卓球部

令和5年度和歌山県高等学校総合体
育大会 卓球競技の部（和歌山市）

女子団体 第5位

木戸 美里・廣崎 和子

山本由妃奈・米田 琴葉

北山 美桜・青山 莉奈

玉置 みう・船木 菜花

安座間来幸

女子ダブルス 第3位

木戸 美里・廣崎 和子

令和5年度和歌山県高等学校卓球
選手権大会兼1年生大会（那智勝
浦町）

女子学校対抗 第3位

青山 莉奈・玉置 みう

船木 菜花・安座間来幸

小川 心温・古田希乃愛

榎山 礼奈・塩田 菜月

女子ダブルス 第5位

青山 莉奈・船木 菜花

令和5年度和歌山県高等学校新人
卓球大会（白浜町）

女子学校対抗 第3位

青山 莉奈・玉置 みう

船木 菜花・百瀬 結葉

小川 心温・古田希乃愛

榎山 礼奈・塩田 菜月

◆弓道部

令和5年度和歌山県高等学校総合体
育大会 弓道競技の部（田辺市）

女子団体 第2位

土井 希・橙 知里

上田 紗奈・力津 彩愛

小早川琉愛・三原 莉子

女子個人 第5位

小早川琉愛

第8位 三原 莉子

近畿高等学校弓道大会（滋賀県彦
根市）

女子個人 出場

小早川琉愛

三原 莉子

女子団体 出場

土井 希・橙 知里

小早川琉愛・力津 彩愛

三原 莉子・山野美依奈

令和5年度和歌山県高等学校弓道選
手権大会（田辺市）

男子個人 第4位

原 琢磨

女子団体 優勝

北岡 沙衣・山野美依奈

三原 莉子

第4位 柳木 初音・土屋 柚乃

小早川琉愛

女子個人 第4位

北岡 沙衣

第6位

柳木 初音

和歌山県高等学校弓道新人大会
（田辺市）

男子個人 第2位

原 琢磨

第7位 伊賀 久訓

女子個人 第2位

山野美依奈

第3位 柳木 初音

津田 悠斗・原 琢磨

男子団体 第5位

原 瑠音

女子団体 第4位

有吉 楓・玉置 由依

山野美依奈・吉田 美来

近畿高等学校弓道選抜大会（大阪市）

女子個人 第7位

山野美依奈

男子個人 出場

原 琢磨

女子個人 出場

柳木 初音

全国高等学校弓道選抜大会（東京都）

男子個人 出場

原 琢磨

女子個人 出場

山野美依奈

◆水泳部

令和5年度 和歌山県高等学校総
合体育大会 競泳競技の部

男子200mバタフライ

3位 市村 伊純

男子100mバタフライ

7位 市村 伊純

◆**野球部**
令和5年度県下高校野球新人戦
ベスト4
田端 晃大・玉置 恭介
森本梗太郎・山田 琴美
山本 詩月・楠 はに香
杉若瑚々音・高尾 禮成
津村 千歳・松山 晃大
山田幸太郎・山村 玲
山本 大輔・佐藤 大晟
高橋 悠雅・竹村 健平
竹輪 陽基・西 奏輔
松村 泉美・山来 太一
脇田 侑・裕 駿一朗
小池 結葉・酒井 粹希
笹 唯太・吉本 伊吹
笹 未羽・湯川 慎介
門脇 立真・梶原 のん
山崎 歩太・橋本 聖良

◆**文化部**
第47回全国高等学校総合文化祭かこしま大会 美術工芸部門 出場
金崎 未和
第43回近畿高等学校総合文化祭三重大会 出場
石家 茉莉
中家奈都実
和歌山県高等学校文化連盟ポスター
優秀賞 田淵 穂花
佳作 森 万温
愛鳥週間用ポスター
全国入賞 尾崎 月灯
第69回御坊市展
洋画 知事賞 西岡 愛莉
洋画 中央公民館長賞 梅田 咲羽
洋画 奨励賞 嶋田 倫也
洋画 奨励賞 船木陽菜子

◆**美術部**
第13回大阪成蹊全国アート&デザインコンペティション 高校生の部
大阪成蹊大学学長賞(金賞) 梅田 咲羽
大阪成蹊芸術奨励賞(銅賞) 田淵 穂花
御坊ロータリークラブ70周年記念事業「本を読んでPOPをつくろう!」
高校生の部
POP大賞 中野 美咲
RC会長賞 田淵 穂花
読書感想画コンクール
指定図書賞 堀口 優
最優秀賞 森 万温
最優秀賞 堀口 優

◆**書道部**
第69回御坊市展
書 中央公民館長賞 松永 妃依
第75回和歌山県高等学校書初会
特選 松永 妃依
特選 西端一落芭
◆**科学部**
第47回全国高等学校総合文化祭かこしま大会自然科学部門 研究発表の部 化学部門
奨励賞
川口 智也・藁科 貴太
芝 一輝
第67回日本学生科学賞和歌山県審査和歌山県知事賞
川口 智也・藁科 貴太
芝 一輝
令和5年度和歌山県高等学校総合文化祭自然科学部門 研究発表の部 化学部門
優秀賞 川口 智也・藁科 貴太
橋本 昊征

◆**箏曲部**
令和5年度 和歌山県高等学校総合文化祭 邦楽部門発表会 第59回和歌山県高等学校邦楽連盟定期演奏会(和歌山市)
準優勝
岩橋 奈央・古久保さくら
和田 昌也・東 瑞希
芝田 葵依・松井 奏来
浅井 明未・新井 希波
池田菜七実・岩崎 唯奈
岩淵 陽咲・上田ゆめの
浦畑 実歩・岡前 心望
黒田亜里沙・田中 永和
玉置 琴美・出口 朋花

◆**JRC部**
第30回手作り紙芝居コンクール(田辺市)
奨励賞
大澤 佑奈・佐藤 歩武
出口 真衣・裕野 心羽
龍田 宗樹
◆**ブラスバンド部**
第38回ジャパンスチューデントジャズフェスティバル2023(神戸市)
奨励賞
平田 美羽・中村 ゆめ
糸田 香衣・宮本 侑奈
杉谷 空美・阪口 愛実
今井 悠月・川村 綾菜
山口 皐月・赤松 采花

◆**英語部**
第60回全国国際教育研究大会愛媛大会 英語弁論部門
全国国際教育研究協議会会長賞
寺井 巴菜
第20回和歌山県高等学校英語スピーチコンテスト
第3位 寺井 巴菜
令和5年度和歌山県高等学校総合文化祭第37回英語発表会
最優秀観客賞
坂元 大和・津村 岬希
岡 佳亮・北出 敦寛
中村 壮太・橋本 昊征
橋本 宥璃・松永 妃依
寺井 巴菜・榎本 伊織
轟 千恵

◆**卓球部**(御坊市立体育館)
女子団体 第1位
三原 菜結・稲葉 千紗
小竹 未紘・田中菜々美
濱田 陽菜・湯川 萌絵
塩田 柚季
男子個人 第5位 中山 廉温
女子個人 第5位 三原 菜結

中学校の部
体育部

○日高地方中学校春季体育大会

◆**卓球部**(御坊市立体育館)
男子ダブルス 第3位
芝崎 光晴・中山 廉温
男子個人 第5位 中山 廉温
女子ダブルス 第5位
小竹 未紘・濱田 陽菜
女子個人 第5位 稲葉 千紗
第5位 三原 菜結

◆**陸上競技部**(南山競技場)
共通女子走高跳
第1位 杉本姫寿奈
第2位 望月 心結
共通女子110mH
第2位 望月 心結

○日高地方中学校駅伝競走大会
◆**駅伝部**(日高川ふれあいドーム 周辺コース)
男子 16位
女子 14位

◆**陸上競技部**(南山スポーツ公園 陸上競技場)
共通女子走高跳
第8位 杉本姫寿奈

◆**剣道部**(美浜町体育センター)
男子個人 第3位 岩崎 正悟

◆**ソフトテニス部**(かわべテニスパーク)
女子個人 第5位 岡本 花穂・江川 茉莉那ペア

○日高地方中学校新人体育大会
◆**陸上競技部**(南山スポーツ公園 陸上競技場)
1年男子400m
第3位 玉置瞬史朗

◆**駅伝部**(日高川ふれあいドーム 周辺コース)
男子 16位
女子 14位

